

G3m上の不動化エンドプロテイナーゼ Glu-C

Cat. No. NATE-1764

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

エンドプロテイナーゼ Glu-Cは、グルタミン酸のカルボキシル末端 (-Glu/-X; アンモニウム炭酸塩 pH 7.8 または アンモニウムアセテート pH 4.0、バッファ A) または グルタミン酸および アスパラギン酸のカルボキシル末端 (-Glu/-X および -Asp/-X; リン酸バッファ pH 7.8、バッファ B) で ペプチド および エステル 結合を特異的に加水分解します。G3m: デキストランに固定化された CR カラムあたり 25 µg (22 ユニット) のエンドプロテイナーゼ Glu-C。この CR カラムは、リン酸バッファ内でアプリケーションごとに少なくとも 12 µg の チューブリン または 5 µg の BSA を切断します。Nr. 7 保存バッファ: 50 mM Tris/HCl、pH 7.5、5 mM EDTA。Nr. 31 反洗バッファ: 25 mM NH₄-アセテート、pH 4.0 (上記参照) Nr. 32 洗淨バッファ: 25 mM NH₄-アセテート、pH 4.0、1 M NaCl Nr. 62 反洗バッファ: 50 mM リン酸バッファ、pH 7.8 (上記参照) Nr. 63 洗淨バッファ: 50 mM リン酸バッファ、pH 7.8、1 M NaCl

別名

EC 3. 4. 21. 19; スタフィロコッカス・アウレウス V8 プロテアーゼ; プロテアーゼ, スタフィロコッカス・アウレウス (エンドプロテイナーゼ グル-C); グルタミルエンドペプチダーゼ; V8 プロテアーゼ, エンドプロテイナーゼ グル-C; スタフィロコッカス セリンプロテイナーゼ

製品情報

由来

黄色ブドウ球菌

EC番号

EC 3. 4. 21. 19

プロトコル

1. 配達されたバッファを (各 2 ml 以上) 無菌の二重蒸留水で希釈します。1回のアプリケーションには以下が必要です。1 ml の 10x 反洗バッファと 9 ml の二重蒸留水 2 ml の 5x 洗淨バッファと 8 ml の二重蒸留水 1 ml の 10x 保存バッファと 9 ml の二重蒸留水 基質は反洗バッファに入れておく必要があります。2. CR カラムを 10 ml の反洗バッファで平衡化します。10 ml の反洗バッファをシリンジに入れ、重力で反洗バッファをカラムの上部フィルターまで流します。バッファの流れが非常に遅い場合は、シリンジで力をかけてください。3. 反洗バッファ中の基質溶液をロードします。小さな体積 (< 70 µl) : CR カラムをベンチトップ遠心分離機で 5 秒間回転させます (2000 rpm で十分です)。基質溶液がマトリックス材料に入るのを待ちます。大きな体積: 基質溶液をカラムを通して流します。流量: 最大 70 µl/分 基質をカラム内に約 1 分間室温で保持します。基質を再度カラムに適用するか、長時間インキュベートすることで、より高い回転率が得られます。4. 製品溶液を溶出します。小さな体積 (< 70 µl) : カラムから製品を遠心分離します。大きな体積: 基質をカラムを通して流し、残留溶液をマトリックスから遠心分離します。注意: 700 ダルトン未満の分子は 7 ml の反洗バッファで溶出する必要があります。カラムが乾燥しても害はありません。5. カラムを 10 ml の洗淨バッファで洗淨します。6. カラムを 10 ml の保存バッファで平衡化します。カラムは 4°C で保管します。CR カラムを凍結しないでください!

保管・発送情報

保存方法

4 °C